

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 18, No. 1

神奈川県立生命の星・地球博物館

Mar., 2012



箱根火山外輪山溶岩の 柱状節理

神奈川県湯河原町鍛冶屋

2011 年 2 月 7 日

笠間友博 撮影

かさまとひろ

笠間友博 (学芸員)

箱根は「天下の険^{けん}」とも歌われるように、主要観光ルートから一步外へ出ると、人影のない世界が、非常に険しい地形と共に広がっています。写真の柱状節理の滝も、そのような箱根の別世界の風景ともいうべきものです。

柱状節理は、高温の溶岩や溶結凝灰岩が冷却する過程で形成される柱状の規則正しい割れ目です。この柱の伸びる方向は、当時の地面などの冷却面に垂直です。写真の柱状節理は、箱根外輪山南部の約 30 万年前の溶岩に見られるものです。柱の断面は六角形ないし五角

形のものが中心で、その幅は 60 cm 程度です。滝中央部から右側の節理はほぼ垂直ですが、左側部分は傾斜しています。

箱根火山では、火山と歴史や生物とのつながりをテーマに、現在日本ジオパーク認定をめざした準備が進められています。箱根は国際観光地であり、交通網や宿泊施設なども整っています。箱根ジオパーク構想でも、このような整備が進んだ環境を活用し、多くの人が気軽に訪れることができる場所を、ジオサイト（ジオパーク内の主要な観察場所）候補地として取り上げています。